

教育大運動 1741 推進ニュース

2024年8月21日
発行：教育大運動
1741 事務局
No.39

教育大運動オンラインフォーラム！ 実施しました

全教・教組共闘連絡会は、8月17日（土）18：00～20：00、大阪府教育会館たかつガーデンからオンライン・フォーラム「教育大運動 1741 feat. 奈良教育大学附属小学校」を開催しました。いま奈良教育大学附属小学校の教職員は、文科省・県教委・大学からの介入を受けています。これは、子どもたちにとってよりよい教育をおこなうため教職員が話し合い、子どもたちの実態に即して、協力共同を重ねてつくりあげてきた同校の教育課程・教育実践に対する明らかな攻撃です。教育課程編成権は各学校にあり、学習指導要領は国の大綱的な基準を示しているだけです。それをわかっているはずの教育行政があえて学習指導要領通りの教育内容押し付けをより強めてきています。

まず、コーディネーターの折出健二さん（愛知教育大学名誉教授・あいち民研）が次のように「課題提起」をおこないました。

*奈良教育大学附属小学校（以下、附小）では、教師たちが学習指導要領の指導事項を手がかりにしなが、附小としての教育課程の自主的な編成を子どもの学びと発達に即しながら開発してきた。

*そこへ、県教委から来た校長が大学と申し合わせたように附小の教育課程が「不適切」と公表し、文科省にも報告した。

*「不適切」を根拠に、「「学習指導要領」について、その法的性格（法規性）を踏まえ、「教育課程国家基準」に名称変更する」（「学習指導要領」の改善についての提言（案）教育実践・経営学会長 2024年7月26日）等の動きが出ている。

一附小の「問題」にとどまらず、より国家統制を強める動勢の現れと見るべきだ。その背後にある、新保守主義にも注視すべき。

*「不適切」責任を負わせる教員の「出向」など、教育現場への信頼ならびに教職人生を歩む専門職者へのリスペクトの無さによる学校教育への安易な介入がある。附小がここで屈することになれば、国公立の各校にも及び始め、教師にとって「教育課程の自主編成」を委縮させ、子どもの学びと発達を国のコントロールに従属させる教育を強めることにつながる。（次号につづく）



☆これから開催される予定！

開催自治体	開催場所	日時	集会名	問い合わせ先・その他
香川県 高松市	香川大学	10月5日（土） 10:00～ ※教育大運動つ ながるフェス	香川県教育研究集会 講演会（妹尾昌俊さん） 分科会、教職員と大学生が 語り合う会	香川県高等学校教職 員組合

教育大運動 1741 はポータルサイトを展開しています。下記 URL か、二次元コードからご覧ください！
URL: <https://www.kyoikudaiundo1747.jp>
※ポータルサイトのアドレスは「1747」のままです！

教育大運動 1741 推進ニュースでは、各地でのとりくみを紹介していきます。各地のとりくみ報告を送ってください。あれば写真も送付してください。
Mail: kyoikudaiundo1741@educas.jp